

パリンジック®の自己注射の方法



自己注射のながれ

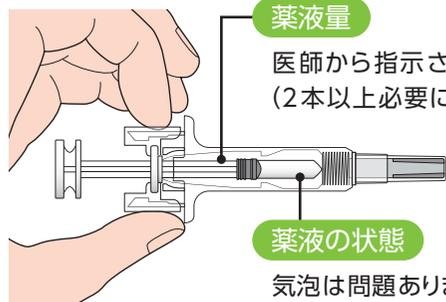
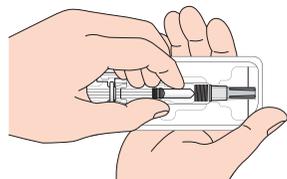
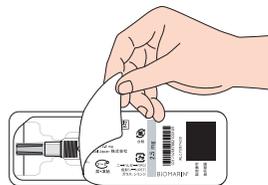
STEP 1

シリンジを外箱とプラスチック容器から取り出し、薬液量と薬液の状態を確認してください。



シリンジ本体の中央を持って取り出しましょう。

注射を開始するまでは、シリンジのプランジャーより後方に触れないでください。



薬液量

医師から指示された用量が記載されていますか？
(2本以上必要になる場合もあります。)

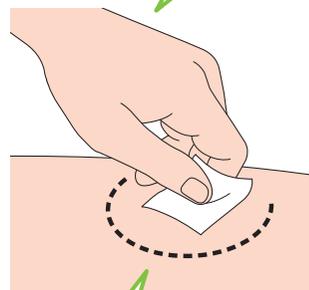
薬液の状態

気泡は問題ありません。シリンジを振ったり、気泡を押し出そうとしないでください。
薬液は透明またはわずかに黄色です。液がにごっていたり、変色していたり、粒子が入っている場合は、使用せずに廃棄してください。

STEP 2

注射する部位をアルコール綿で消毒してください。

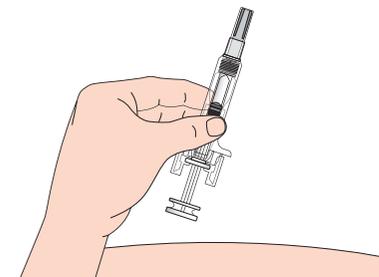
注射をするまで
10秒以上乾かす



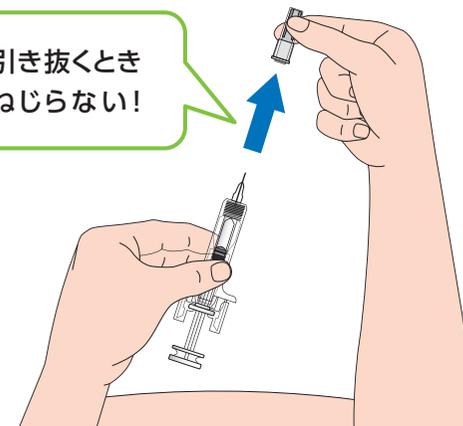
消毒した部位には
触らない！

STEP 3

針が体の側に向かないようにシリンジを持ち、針キャップをまっすぐ引き抜いてください。

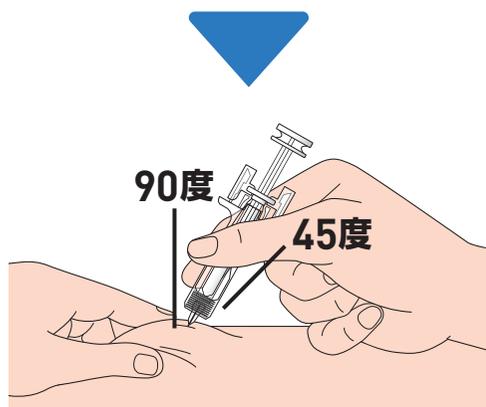
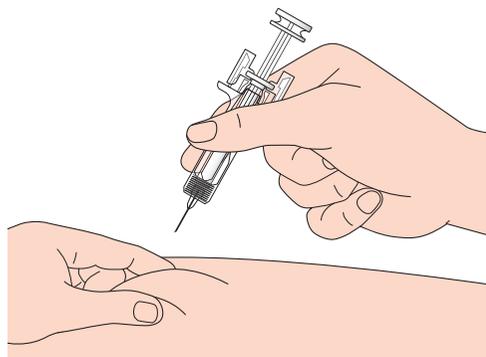


引き抜くとき
ねじらない！



STEP 4

片方の手で消毒した皮膚をつまみ、つまんだ皮膚に対して45度から90度の角度で針を挿入してください。

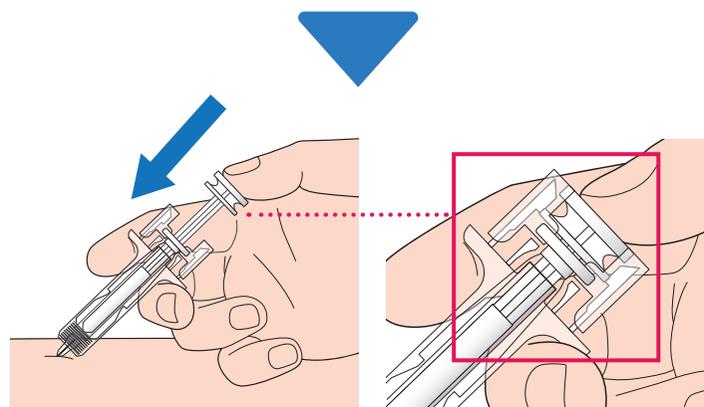


針が挿入できたら、皮膚をつまんでいた手はゆっくり離しましょう。

STEP 5

フィンガーグリップに指をかけ、ゆっくりとプランジャーを押し込んでください。

指をかけるときは
反対手で支える

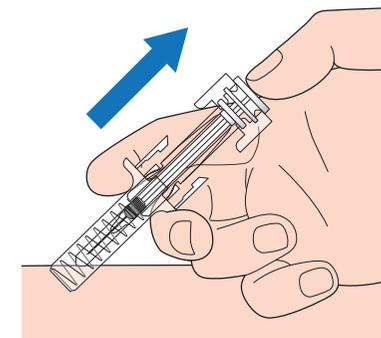


すべての薬液を注入するために、プランジャーを完全に押し込んでください。

プランジャーが完全に押し込まれていない場合、STEP6の針の格納が行われません。

STEP 6

プランジャーをゆっくりと離してください。



注射部位に出血がある場合は、ガーゼで約10秒間押さえましょう。また、必要に応じて絆創膏を貼ってください。

1回の投与に複数の製剤の投与が必要(1日40mgまたは60mg投与)な場合、各注射は時間を置かず続けて投与してください。

注射が終わったら、すぐに使用済みシリンジを専用の廃棄ポーチに入れてください。使用済みのシリンジを入れた廃棄ポーチは、パリンジック®を処方された医療機関へ持参して、指示に従った廃棄をお願いします。針キャップはシリンジにはめ直さず、家庭ごみとして捨ててください。

自己注射準備マット

パリンジック®の自己注射の準備には、必ず使用するものと出血や副作用が起こったときに使用するものがあります。毎回このマットの上にすべてを並べ、そろっていることを確認してから自己注射をはじめましょう。

必ず使用するもの

アルコール綿

アルコール綿は個包装に入ったまま並べ、使う直前に封を切りましょう。

シリンジは外箱とプラスチック容器から出した状態で並べましょう。

※シリンジはあらかじめ常温に戻してある必要があります。

シリンジ 1本目

シリンジ 2本目

医師から指示があった方のみ準備してください。

シリンジ 3本目

医師から指示があった方のみ準備してください。

必要に応じて使用するもの

ガーゼ

注射部位から出血した際に、患部を約10秒間押さえます。

絆創膏

必要に応じて出血箇所に貼ります。

ガーゼと絆創膏は個包装に入ったまま並べ、使うことになったら開封しましょう。使用しなかった場合は、清潔な状態で次回のために保管しておきましょう。

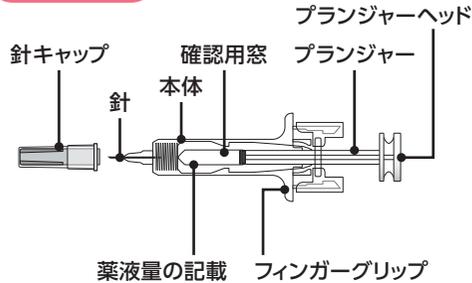
エピペン®

アナフィラキシーの徴候や症状が現れたときに、太ももの前外側に注射します。

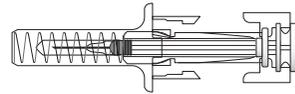
自己注射にあたって

シリンジ(注射器)の名称

注射のまえ



注射のあと



針による事故を防ぐために、
注射後は針が内部に格納されます。

- 注射を開始するまでは、シリンジのプランジャーより後方に触れないでください。
- プランジャーヘッドを押すと薬液が出ます。

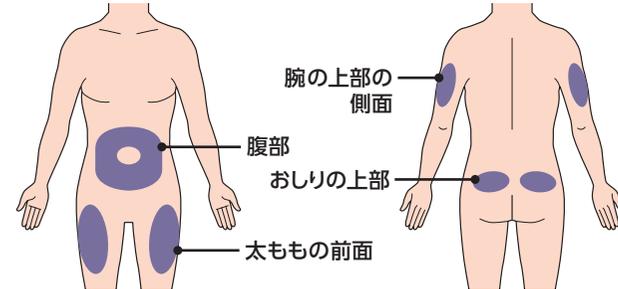
保管方法と使用期限

- 病院から帰宅後、2～8℃の冷蔵庫へ入れて保管してください。
- 光から守るために外箱に入れたままにしておき、薬液が凍ってしまわないよう、冷気の吹き出し口付近を避けて置きましょう。
- 冷蔵庫で保管できない場合は、25℃以下の室温で30日間保管できます。その場合は、外箱に冷蔵庫から取り出した日を書いておきましょう。
- 一度室温で保管したシリンジは冷蔵庫に戻さないでください。
- 使用前には毎回、外箱の「使用期限」を確認しましょう。

投与のまえに

- 医師から指示された投与量に必要なシリンジを冷蔵庫から取り出してください。
- 外箱に入ったままのシリンジを室温の場所に30分以上置き、常温(15～25℃)に戻してください。パリンジック®を冷たいまま注射すると、注射部位に不快感を生じることがあります。

注射する部位



- 実際にどこへ打つかは医師または看護師とご相談ください。
- 注射を2回以上行う場合は、注射のたびに注射部位を変更してください。
- 同じ部位で行う場合は、前回注射した場所から少なくとも5cm以上離します。

アナフィラキシーについて

パリンジック®の投与中に、重度のアレルギー反応(アナフィラキシー)が起こる可能性があります。下記の症状が1つでも現れたら、すぐにエピペン®の自己注射を行い、救急車を呼び、最寄りの医療機関を受診してください。

消化器の症状

- 繰り返し吐き続ける
- 持続する強い(がまんできない)おなかの痛み

呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 持続する強い咳込み
- ゼーゼーする呼吸
- 息がしにくい

全身の症状

- 唇や爪が青白い
- 脈を触れにくい・不規則
- 意識がもうろうとしている
- ぐったりしている
- 尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会アナフィラキシー対応ワーキンググループ：一般向けエピペン®の適応より引用
<https://www.jspaci.jp/gcontents/epipen/> (2023年3月参照)

エピペン®は、パリンジック®と一緒に処方されます。
アナフィラキシーの発現に備え、常に持ち歩くようにしてください。

B:OMARIN®